芸術 【「My ポートフォリオ」作成に向けて、制作を振り返り、記録する】 美術 I 『映像メディア表現・鑑賞』 活用場面 吝学習 個別学習 協働学習 教師による教材の提示 個に応じた学習) 発表や話合い (思考を深める学習) 表現·制作 光の効果や構図を工夫し、作品を撮影する 活用した機器等 活用したアプリ等 Chromebook Google Classroom Google スライド カメラ機能

スライドに写真を添付し、作品について説明を加える

## 学習のねらい

自分の作品の主題や表現の意図と工夫を振り返り、作品の写真とともに記録したものを共有し、自己の表現に生かせる ようにする。

## 学習の流れ ここでICTを活用! ·教員は、Google Classroomを通して、ポート これまでに制作した作品を作品集としてGoogleスライド 導 フォリオ用のGoogleスライドのテンプレートを にまとめ、記録するポートフォリオを作成することについての 入 配付する。 イメージをもつ。 興味や関心 を高める ・自身の立体作品が美しく見える設置場所や √ ①スライドに貼りつけるために作品を写真撮影する。 ラ機能で撮影する。 ②自身の制作した作品を振り返り、作品の主題や表現の 展 意図と工夫などについて、考察する。 ・テンプレートのスライドに作品の写真を貼り付 開 ③写真と作品についての記述内容をスライド上の効果も考 け、表現の意図や工夫など作品についての説 思考を表現に えながら、レイアウトを吟味する。 摘える 明を加えていく。 ・生徒は作成したポートフォリオをGoogle Classroomに提出する。 ま①作成したポートフォリオを提出する。 ②ポートフォリオを全体で共有し、他者の作品の表現の意 と ・教員は生徒全員分のポートフォリオを再配信 め図や工夫について知り、鑑賞活動を深める。 振り返って 次へつなげる し、生徒は他者の作品集を鑑賞する。 活用のメリット、実践の工夫・振り返り等 ・Google Chromebookで撮影した写真について、生徒は、意図したイメージに近づけるためにコントラストや色調、トリミ ングなどで調整した。そうすることでカメラ機能の基本操作を習得するとともに、自身の作品をより客観的に鑑賞し、理解 することにつながった。

・Googleスライドの簡単な操作方法を紹介したスライドをテンプレートとともに配付し、そのスライドを参照しながら主体的 にレイアウトを工夫できるようにした。生徒は伝えたいイメージに応じてフォントや配色、スライドテーマを容易に選択、変更 することができるため、伝えたいイメージにもとづいてスライド全体のレイアウトや装飾を考え、デザインを試行錯誤すること ができた。

・作者が作品を撮影、トリミング加工をすることを通して、細部であってもより注目してほしい部分を効果的に見せることが できていた。

構図を探しながら、作品をChromebookのカメ